



～（仮称）広域リサイクルセンターのお知らせです～

No.3（平成23年4月1日）

発行：寒川町

本年1月に、地元3地区、関係権利者及び藤沢市宮原、瀬郷地域にお住まいの方々を対象に、施設の計画概要と建設工事を内容とした説明会を3つの会場で行いました。多数のご参加、ご意見をいただき、誠にありがとうございました。

（仮称）広域リサイクルセンターの 建設工事に着手します

茅ヶ崎市との共同施設となる（仮称）広域リサイクルセンターの建設工事は、既に仮設工事が始まっております。今後、杭工事を始めとした本体工事が行われ、平成24年度の施設稼働をめざして整備してまいります。

この新しいリサイクルセンターは、資源物を確実、安全・安定的に再資源化できる施設、リサイクル活動の拠点となる施設として建設してまいります。

地域の皆様には、工事期間中は何かとご迷惑をおかけしますが、どうかご理解とご協力をよろしく御願いたします。

旭橋に側道橋が完成しました

町道路課により、本年4月1日、目久尻川に架かる旭橋に並行して、歩行者等が安心して渡ることのできる橋ができました。

新たに横断歩道も設置されたことにより、今までよりも安全に通行することが可能となりました。

（平成23年4月1日撮影）



Q&A リサイクルセンターに関する問題についてお答えします。

Q:今度のリサイクルセンターでは、資源物を取り扱う施設のほかに何があるの？

A:ここでは、資源物処理施設と並んで、その処理工程をみなさんが見学できるスペース、リサイクル情報の提供や紙すきなどを体験していただける啓発的な活動を行う部屋があります。

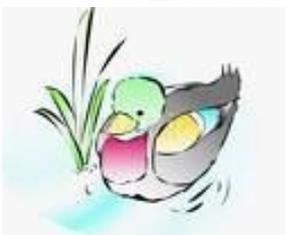
- ①見学～びん、かん、ペットボトル等の資源物が、ベルトコンベヤで2階に運ばれ、人の手により不純物を取り除き再び1階で、びんは色別に、その他は圧縮機でまとめられるまでの工程を見学することができます。
- ②情報～リサイクルの一般的な知識や資源物がどのようにリサイクルされるのかといった事柄について、映像などを交えてご案内します。
- ③体験～紙すき、石鹸などを資源物から、みなさんの手で作っていただくことを通じて、限られた資源の大切さを一緒に考えていきたいと思えます。

また、目久尻川の親水護岸、道路よりこの施設の一部を開放し、一休みできる「あずまや」や「小径」などを配置して、散策をされる方のいこいの場も計画しています。

既存の樹木もなるべく残し、毎年秋の季節にたくさん実るどんぐりも、子供たちが拾いやすくなります。

説明会でいただいた主なご意見等

- ・ 工事中の工事車両、施設稼働後の搬出入車両について、安全対策をしっかりと行ってほしい。
→ 人道橋等は工事が完成しています。今後、目久尻川沿いには、退避所や道路の一部を緑色に着色した歩行者帯を設けていきます。
- ・ 施設の規模は十分なのか。資源物が屋外にあふれる事は無いのか。
→ 人口推計等計画から、必要十分な規模と考えています。時期的に資源物が多く搬入される場合も運転管理面において対応し、周辺環境に影響の無いよう配慮します。
- ・ 工事工程等の情報を現場だけでなく、地域の自治会案内板に掲示してもらいたい。
→ 同様の情報を、北部公民館や大村地域集会所に掲示します。
- ・ リサイクルセンターでの作業員は、なるべく地元の人を採用するように。
→ 作業状況等を整理した上で、地元採用の方法を考えていきたいと思えます。
- ・ 事業地西側の道路整備を行うように。(但し、通過交通が増えない程度に。)
→ 西側の狭い道路は、既存の樹木を切らない範囲で拡幅整備を行っていきます。
- ・ コミュニティバスの再開をしてほしい。
→ 担当課と調整します。(今後、経過をこの紙面でご紹介していきます。)
- ・ 資源物からのにおいは大丈夫なのか。
→ 基本的な作業は、建屋内で行います。また、ご家庭からの資源物について、洗う等して出していただくよう啓発に努めます。



編集：寒川町町民環境部環境課広域リサイクルセンター整備担当

Tel : 0467(74)5547 Fax : 0467(74)1385

E-mail : kankyou@town.samukawa.kanagawa.jp